

教養区分・法律区分 2つのチャンスを活かして、

# 学生生活と両立しながらムリなく 「公務員」になる！

教養区分・法律区分試験の合格、そして官庁訪問を経て内定を勝ち取るために、「採用したい！」、「一緒に働きたい！」と思ってもらえる人間的な魅力を学生生活を通じてつくりながら、試験に合格できる知識やスキルも修得していく必要があります。民間企業と同じく人物試験がますます重視されるようになっている「公務員試験」。「合格後を考える」真の法律家・行政官を育成する伊藤塾と人間力に根ざした教育、社会に貢献できる人材育成の専学院が提携した新時代の「合格・内定戦略」です。



## POINT 1 大学入学までの差を埋める



筆記試験  
対策



人物試験・  
官庁訪問  
対策



国家総合職 [法律区分]
国家総合職 [教養区分]
国家一般職 地方公務員

教養試験・専門試験・人物試験、  
すべての基礎となる、  
基礎能力試験対策が出発点

## POINT 2 選択肢を絞らない インプット

憲法・行政法・民法など

国家総合職  
[法律区分]

国家一般職  
地方公務員

政治学・行政学・国際関係など

専門科目は、ゼロから  
正解できる力をつけ  
一般職・地方公務員

しっかりと。まずは択一式に  
る。総合職だけでなく、  
も視野に、必要な科目を学ぶ。

国家総合職  
[法律区分]

国家総合職  
[教養区分]

国家一般職  
地方公務員

少子高齢化・財政再建・地方の活性化など

人物試験(官庁訪問)  
ポイントは「行政・  
中央(国)の政策を

を見据えた教養区分対策。  
課題・政策の学び方。  
学べば地方の政策も理解が深まる。

## POINT 3 志望先にあわせてアウトプット

学んだことを使って、自分の力で問題が解けるか・論述が書けるかを  
実際に確認していく。

国家総合職  
[法律区分]

国家一般職  
地方公務員

択一式の演習で、基礎的な知識を確認しながら現場思考も  
トレーニング。記述式試験に対応する力も養成していく。

択一式の問題演習で、基礎的な知識を確認する。

最後の要は、自分の考えを、論述・プレゼン・議論すること。一人ひとりの得手不得手や  
到達点が異なるので、個別にチェックしながら、よりよいものへ仕上げる。

国家総合職  
[法律区分]  
[教養区分]

法律区分・教養区分の過去問等での演習。面接カード添削や  
模擬グループ討議で本番に向けた準備を行う。

国家一般職  
地方公務員

志望先の自治体の出題傾向に合致した問題で演習。  
面接カード添削や模擬集団討議で本番に向けた準備を行う。

## POINT 1 人物試験までを見据えて、 大学入試までについついた差を埋める

- 大学入学までに修得しておくべきだったことが中心

→大学受験予備校として70年の伝統と実績・信頼の専学院の指導ノウハウで  
盤石な基礎形成

- 数的の基礎となる力や文章を書く力を確認する

→相応の時間がかかる「読み・書き・そろばん(算数)」の再出発は専学院で

- 志望が明確なら、余裕のあるこの時期だからこそ学びたい科目がある

→現役官僚と話す時の「共通言語」を知っておく。「合格後を考える」

基礎能力 <一般知識>	人文学科:日本史・世界史・地理・倫理(思想) 自然科学:数学・物理・化学・生物・地学
基礎能力 <一般知能>	数的処理・課題処理・空間把握・資料解釈・文章理解
キャリア教育・ 職業教育	マナー・プロトコール、簿記、情報リテラシー、 語学(英語・中国語)

## POINT 2 筆記も面接も、自 志願先を選べる

- 50%以上が配点される法律科目  
→正解を導くために必要な知識と思考法

- 「社会科学」や行政系科目は、  
今起きている行政課題や政策と  
→ニュースで見聞きする問題を自分と関

- 公務員試験全般に通用する力を  
→「ここだ!」と思う志願先が見つかった

基礎能力 <一般知識>	社会科学・政治経済・ 時事対策	現代社会
専門科目	総合職だけなら▶ 一般職・地方上級と両 にらみなら、プラスしたい 政治学・行政学・	憲法・行政法・民法・刑法・商法・労働法 経済学・国際関係・社会政策・財政学／経済事情
キャリア教育・ 職業教育	東京研修(官庁訪問・ スーツ講習・メイク	中央大学スクーリング) 講習・ボランティア団体演習

## POINT 3 分の興味にあわせて ようすに準備する

を中心に学ぶ  
を学べば、得点源にできる

関連づけて“楽しく”学ぶ  
連づけて理解できれば、人物試験対策につながる

つける  
時に、後悔しない選択ができる

## POINT 3 選んだ志願先にあわせて仕上げる

- 受験対策のノウハウで、筆記試験の学習負担はできるだけ軽減する  
→独学や書籍からは科目や試験形式で異なる「効率的な勉強法」はわからない

- 多くの合格・内定者を知る「プロ」の評価を受けて、  
目標までの距離を詰めていく  
→合格・内定者と自分とのギャップは、同じグループの中では見えてこない

- 自分の「これまで」と「これから」に合致した指導を受ける  
→他人の答案や面接カードからは、自分の修正点はみつからない

基礎能力 <一般知識>	択一演習 時事対策
基礎能力 <一般知能>	択一演習
専門科目	択一演習 記述演習(添削付)
人物試験	面接カード添削・模擬面接・模擬集団討論／模擬グループ討議